

会員の皆様におかれましては、ますますのご清栄のこととお慶び申し上げます。

まず、通常定期総会を遅延させていることは会長である高橋 修の責任であり、心よりお詫びを申し上げます。

さて、去年の漢字は「災」で、2月に北陸の豪雪、6月に大阪北部地震、7月に西日本豪雨、9月に北海道地震や台風21号が発生するなど災害が起きたことで選ばれたものと思われませんが、災い転じて福となる前振りであることをお祈りし、災害に遭われた地域には心よりお見舞いと早期の復興をお祈り申し上げます。

また、当会ではボランティア活動の一環として、今回の災害時にも皆様から義援金を頂戴し、大きな力とはなれないまでも日本赤十字社へお送りいたしました。このことは小さな組織であっても大きな誇りであり、皆様のご協力に心より感謝する次第であります。

さて、今年「平成」の最後の年であり、「平成」に発足した本研究会は、平成11年に団体として組織や会則を整備し、神経生理検査に関わる臨床検査技師の知識および技術向上に活動を展開して参りました。現在では600名超の会員を擁する団体に成長し、各支部の活動、メーリングリストを通じて会員の知識向上や情報交換および交流に取り組んでおります。そして、皆様の地道な努力は保険点数の改訂にも関与することができ、神経伝導検査、脳波検査、誘発電位検査に大幅改正に貢献することができたことは特筆すべきものと考えます。

また、学会の代議員も16名となり、各委員会に配属され、臨床現場における意見を直接的に反映できることは神経生理検査の発展に大きな貢献をしている次第です。

日本臨床衛生検査技師会では生涯教育研修制度認定団体として登録され、多くの会員が技師会活動に参加しており、最近発刊された神経生理分野の教本も多数の会員が著作に関わりました。今後も多方面での活動やイベントに参画していただいて臨床神経生理分野の発展に貢献していただきたいと思っております。

平成29年度(H29.4.1～H30.3.31)の活動は、第22回全国研修会をはじめ全支部で行われ、内容の充実した情報交換と多くの人的交流があったと思われ、各支部役員の企画、執行については心より感謝いたします。そして全国研修会は、全国会員が交流できる場として役目を果たして参りましたが、各支部開催を一回りし、また支部活動が活発となり、メーリングリストにおける情報網も充実し、1つの目的は達成されたと考えて今年度は開催を見送ることといたしました。それに伴い今まで開催してきた全国研修会の予算費用を各支部の「研修会開催支援金」として活用すること、さらに「全国研修会開催積立金」として備えることを今年度予算に組み入れました。この2つの新設予算につきましてはすでに評議員会にて十分な吟味と意見をいただき賛同を得られました。本総会にても皆様からのご意見を頂戴したいと存じます。また、今後の全国研修会の開催と形式につきましては皆様のご意見を参考に検討し、具体案をまとめて次回の総会に提案したいと考えております。

さて、ここまで発展してきた当会を将来的に継続し、さらなるステップを上って行くために、以前から議題となっていた世代交代につきましては次年度(H31年度)の総会で具体案を呈示し皆様の信任を賜りたいと存じます。

今後も、当会の看板であるアットホーム的な雰囲気継続しながら、会員の皆様の知識向上と神経生理検査の普及に取り組んで参る所存であります。

最後に執行部一同、今後も当会の発展のために努力して参る所存ではありますが、会員の皆様も一緒に盛り上げていただけますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

平成 30 年度 日本神経生理検査研究会 通常総会開催のご案内

日本神経生理検査研究会 会長 高橋 修

平成 30 年度日本神経生理検査研究会 通常総会(電子会議方式) 式次第

- 1) 議長選出
- 2) 議案の提案と審議検討 (会期:平成 31 年 1 月 18 日～平成 31 年 1 月 31 日) 14 日間
 - (1) 1 号議案
平成 29 年度事業報告、収支決算、監査報告(H29.4.1-H30.3.31)
 - (2) 2 号議案
平成 30 年度事業計画案、予算案 (H30.4.1-H31.3.31)
 - (3) 3 号議案
平成 30 年度年役員信任案
- 3) 審議と採択(当会ホームページより投票):議案一括採択方式とする
会則第 5 章 18 条『総会成立は、会員数の 1/10 の投票参加で成立とし、可否は投票数の過半数で決す』
- 4) 採択結果報告(ホームページにて中間報告と最終報告)

投票用紙→<https://goo.gl/forms/TweTfWtw414ZDIL03>

1号議案

平成 29 年度事業報告及び収支決算 (H29.4.1-H30.3.31)

【 I 事業報告】

- 1) 評議委員会の開催
 - ・平成 29 年度通常総会開催に先立ち、議案書(案)の審議を(H29.9.6-9.13)に開催した。
 - ・提出した議案書について誤植・追加訂正などの指摘があり修正を行った。
 - ・全国研修会(21th久留米)は盛況であったので余剰金があり今後の開催形式について検討の提案あり。
- 2) 平成 29 年度通常総会を電子会議形式にて開催 (H29.9.15-9.30, 16 日間)
期間中会員数推移:H30 年度年会費納付会員 449 名
総会参加・投票の結果は、投票総数 187 票であり、承認=187 票, 反対=0 票であり会則第 5 章 18 条に則り、本年度議案書(案)は承認された。
なお、支部と投票数は、北海道 16,東北 21,関東甲 40,中部 39,近畿 46,中国四国 17,九州 19 であった。
最終投票支部別結果をホームページにて広報した(H29.10.3)。
- 3) 執行部会の開催(H30.3.9、北海道) 出席者:高橋、片山、三浦、石郷、瀬川、水野
 - ・H29 年度総会の総括と次年度総会の時期と運営準備についての検討。
 - ・全国研修会は全支部で開催完了したので、次回からの開催形式や要項を検討審議していく。
具体的には支部公募や開催補助金の支給などを考慮していく。
 - ・役員の新陳代謝を次年度から検討し実施できる具体的なプランを評議会でも相談し考案する。
 - ・執行部役員の業務内容の役員や見直しを行い、事務局業務の分配の可能性を検討する

【Ⅱ. 平成29年度決算報告】

平成29年度収支決算書 (H29. 4. 1～H30. 3. 31)

会員数628名(未納会員179名含む) 単位(円)

| 収入の部 | 予算 | 決算 | 決算明細 |
|------------------|----------------|----------------|--|
| 1. 会費 | 600,000 | 548,500 | 年会費、入会金合計 (複数年度納入があるため会員数の乗算ではない) 内訳:H27年 年会費¥500×7名 H28年 年会費¥500×90名 入会金¥1000×35名 H29年 年会費¥1000×449名 入会金¥1000×16名 |
| 2. 事業収入 | 270,000 | 285,000 | H29年22th全国研修会参加費(北海道) 内訳:会員¥3000×21 非会員¥5000×43 テキスト販売¥500×14冊 |
| 3. 雑収入 | 100 | 10 | 利子 |
| 小計 | 870,100 | 833,510 | |
| 4. 前年度繰越金 | 916,988 | 916,988 | |
| 合計 | 1,787,088 | 1,750,498 | |

| 支出の部 | 予算 | 決算 | |
|------------------|------------------|----------------|---|
| 1. 事業費 | 1,055,000 | 832,374 | |
| H29年22th全国研修会運営費 | 820,000 | 607,874 | 講師料(交通費含む)¥233500、会場費¥31200 印刷代諸経費¥62370、垂れ幕¥2484、消耗品¥7312 お茶・お菓子¥13672、雑費¥4426、昼食代¥10200 実務委員活動費(5)¥20000、総会事務費(5)¥222710 |
| (参加費等充当) | (270,000) | (285,000) | |
| (研究会補助) | (550,000) | (322,874) | |
| 表彰 | 10,000 | 0 | 該当者なし |
| 支部活動補助金 | 225,000 | 224,500 | ¥500×449名 |
| 2. 事務費 | 73,000 | 43,026 | |
| 会議費 | 10,000 | 0 | |
| 通信費 | 6,000 | 6,000 | ¥1000×6 |
| 執行部行動費 | 12,000 | 12,000 | ¥2000×6 |
| 消耗品費 | 10,000 | 0 | |
| 案内通信費 | 25,000 | 24,800 | 当会ホームページ更新作業準備(新ソフト代)費 |
| 予備費 | 10,000 | 226 | 振込手数料 |
| 小計 | 1,128,000 | 875,400 | |
| 3. 次年度繰越金 | 659,088 | 875,098 | |
| 合計 | 1,787,088 | 1,750,498 | |

[Ⅲ. 学術活動]

1. 全国主催

1) H30.3.10: 平成29年度第22回全国研修会, 会場: 北海道大学医学部臨床講義棟

2. 支部主催

1) 北海道支部

(1) H29.10.7～8: 第65回北海道支部神経生理検査勉強会&第21回宿泊研修セミナー
テーマ: 「NCS再確認～技師が知っておくべき基礎と臨床～」
場所 定山溪ホテル(札幌市南区定山溪温泉西4-340-1)

(2) H30.3.10: 定例の年度末支部研修会は全国研修会との共同開催となりました。

2) 東北支部

(1) H29.9.23: 第6回東北支部研修会 会場: 東北大学医学部保健学科1F 大講義室

3) 関東甲信越支部

(1)H29.9.3 :第29回 関東甲信越支部研修会、会 場 :日本光電フェニックスアカデミー
テーマ:『聴いて、訊いて、日頃の検査に役立てよう』

(2)H30.2.25 :第30回関東甲信越勉強会、会 場:日本光電フェニックスアカデミー

4) 中部支部

(1)H29.10.21: 第28回 中部支部研修会、会場:名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟

(2)H30.3.24: 第29回中部支部研修会、会場:名古屋市立大学 医学研究科・医学部研究棟

5) 近畿支部

(1)H30.3.3: 第6回 近畿支部研修会、会場:天理よろづ相談所病院 本館南病棟 地下会議室

6) 中国四国支部

(1)H29.8.5-6: 第6回 中国四国支部勉強会、会場:徳島大学病院外来棟 5F 日垂ホール
～徳島大学神経内科 Neuro-Tokushima Seminar 2017合同企画～

テーマ『神経生理を極めよう!』

(2)H29.12.17: 第7回 中国四国支部研修会のご案内、場所:広島大学 広仁会館 2F 大会議室
本研修会はてんかん学会共催でGSK教育事業推進とのコラボレーション企画です。

7) 九州沖縄支部

(1)H29.10.28: 第14回九州支部講演会、会場 : 熊本機能病院 南館中ホール

(2)H30.2.3: 第1回九州支部実技講習会、会場:日本光電工業株式会社九州支社
<初学者対象 神経伝導検査手技>

3. その他事業

特記なし

【 IV. 平成 29 年度 監査報告 】

[監査報告書]

平成 30 年 12 月 1 日

日本神経生理検査研究会
会長 高橋 修 殿

平成 29 年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 水野久美子 (印)

記

1. 会務について、事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
2. 会計について、会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

2号議案

平成30年度事業計画案および予算案(H30. 4. 1～H31. 3. 31)

【 I. 事業計画 】

1. 組織、運営に関すること

- 1) 会員が神経生理検査の質向上に寄与し、社会に広く認知されるように本会の組織のさらなる活性化および人材育成を行っていく。同時に次期幹部役員の発掘・指名・育成を念頭に根回し活動を行う。
- 2) 会員の情報交換の場として活用されているメーリングリストの適切な運営と、さらなる充実を図る。

3) 支部活動の充実を図るための援助を行う。

昨年度まで「支部活動補助金」として納入年会費の半額を還付していたが、さらに講演料や機器借用に利用できるように「支部研修会支援金」として審査後5万を上限として支援する予算を提案した。

4) 年1回の総会を電子総会として開催する。

5) 各支部地区での全国研修会開催が完遂されたので次回以降の開催形式を今年度中に検討する。

なお、「全国研修会積立金」として20万を予算計上した。

2. 学術関連における他団体との連携に関すること。

1) 日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会とは、認定制度や生涯教育における従来の交流を継続するとともに、新しい制度や検査項目などの情報収集と広報活動を推進する。

2) 専門学会との交流は、臨床検査技師が関わる日本臨床神経生理学会を中心とするが、神経学会や末梢神経学会などの学術団体などの交流も視野に入れて、研究会の充実と会員の利便性を図る。

4) 日本臨床神経生理学会が主催する、神経筋診断セミナー、術中脳脊髄モニタリング委員会やセミナー、脳波セミナー・アドバンスコース委員会やセミナーなどの専門技術交流が図れる団体等とは積極的に参画し、また情報交換を図り、会員の技術育成に関与する。

3. 表彰事業に関すること。

会員のモチベーションの上昇を考慮し、表彰制度を推進する。

対象とする論文は、前年度に発表された論文について表彰委員が吟味し推薦する。

【 II. 学術活動 】

1. 全国主催

各支部地区での全国研修会開催が完遂されたので次回以降の開催形式を今年度中検討する。

そのために執行部主催の全国研修会は開催を見送ることとする。

2. 支部主催

1) 北海道支部

(1) H30.10.13—14：第66回北海道支部勉強会&第22回宿泊研修セミナー、会場：国民宿舎 新嵐山荘
テーマ「脳機能検査の最前線～脳波検査におけるこれから の検査技師の関わり方～」

(2) 平成31.2：頃 第67回 北海道支部定例勉強会、会場：北海道大学学術交流会館
テーマ「実践、脳波～てんかんの検査・診断・治療～」

2) 東北支部

(1) H30.6.17：第7回東北支部研修会 会場：東北大学医学部保健学科1F 大講義室

3) 関東甲信越支部

(1) H30.9.30：第31回関東甲信越支部勉強会、会場：日本光電フェニックスアカデミー
テーマ『実技講習会 基礎の再認識』

(2) H31.3.10：第32回 関東甲信越支部勉強会のご案内、会場：日本光電フェニックスアカデミー
テーマ：「匠からの伝承」

4) 中部支部

(1) H30.11.23：第30回中部支部研修会、会場：三重県総合文化センター・レセプションルーム

(2) H31.3中旬：第31回中部支部勉強会 予定

5) 近畿支部

(1) H31.3.9：第7回近畿研修会、会場：神戸市立医療センター中央市民病院
テーマ「ここからはじまる神経伝導検査 ～臨床医の思いに添えて～」

6) 中国・四国支部

(1) H30.8.25-26：第8回中国四国支部研修会 場所：徳島大学蔵本キャンパス
～徳島大学神経内科 Neuro-Tokushima Seminar 2018合同企画～

7)九州沖縄支部

(1)H31.2.16: 第2回九州沖縄支部実技講習会、会場:九州大学病院 共用会議室1および脳波検査室

【Ⅲ. 会員表彰】

表彰委員による審査を経て以下の会員の論文を学術奨励賞として表彰する。

高森 稔弘会員(鳥取大学医学部附属病院検査部)

「ブラウン管モニターと液晶ディスプレイ刺激による視覚誘発電位の比較検討」

医学検査 p179-p183 vol.66 No.3 2017

【Ⅱ. 平成30年度予算計画書】

平成30年度収支予算書(案) (H30. 4. 1~H31. 3. 31) 会員数 615名 (年会費納入者 421名) 単位 (円)

| 収入の部 | 前年度決算 | 予算 | 予算補足 |
|-----------|-----------|-----------|----------------------------|
| 1、会費 | 548,500 | 600,000 | 年会費会費、入会金合計 複数年度会費納入も含む |
| 2、事業収入 | 285,000 | 0 | 平成30年度全国研修会は休止のため |
| 3、雑収入 | 10 | 10 | 利子 |
| 小計 | 833,510 | 600,010 | |
| 4. 前年度繰越金 | 916,988 | 875,098 | |
| 合計 | 1,750,498 | 1,475,108 | |

| 支出の部 | 前年度決算 | 予算 | |
|-----------|-----------|-----------|-------------------|
| 1、事業費 | 832,374 | 785,000 | 平成30年度全国研修会は休止のため |
| 全国研修会積立金 | 0 | 200,000 | * 新設 |
| 表彰 | 0 | 10,000 | |
| 支部研修会支援金 | 0 | 350,000 | * 新設(¥50000×7支部) |
| 支部活動補助金 | 224,500 | 225,000 | ¥500×450名 |
| 2. 事務費 | 43,026 | 58,000 | |
| 会議費 | 0 | 10,000 | |
| 通信費 | 6,000 | 6,000 | ¥1000×6 |
| 執行部行動費 | 12,000 | 12,000 | ¥2000×6 |
| 消耗品費 | 0 | 10,000 | |
| 案内通信費 | 24800 | 10,000 | |
| 予備費 | 226 | 10,000 | 振込手数料等 |
| 小計 | 875,400 | 843,000 | |
| 3. 次年度繰越金 | 875,098 | 632,108 | |
| 合計 | 1,750,498 | 1,475,108 | |

3号議案 平成30年度年役員信任案

日本神経生理検査研究会役員案 (下線は今年度より新役員)

1. 執行部役員

| | | |
|------|-------|------------|
| 会長 | 高橋 修 | (慶應義塾大学) |
| 副会長 | 片山 雅史 | (国際医療福祉大学) |
| 副会長 | 石郷 景子 | (大垣市民病院) |
| 事務局長 | 瀬川 義朗 | (自宅) |
| 会計 | 三浦 祥子 | (仙台市立病院) |

2. 支部代表者

| | | |
|---------|--------|--------------------|
| 北海道支部 | 山本 雅史 | (北海道大学病院) |
| 東北支部 | 赤塚 れい子 | (山形県立河北病院) |
| 関東甲信越支部 | 谷中 弘一 | (獨協医科大学日光医療センター) |
| 中部支部 | 山本 貴子 | (可児とうのう病院) |
| 近畿支部 | 松下 隆史 | (神戸市立医療センター中央市民病院) |
| 中国・四国支部 | 高松 直子 | (徳島大学病院) |
| 九州沖縄支部 | 八木 和広 | (潤和会記念病院) |

3. 評議員会(順不同・敬称略・執行部役員および支部長) 12名

| | |
|--------|--------------------|
| 高橋 修 | (慶應義塾大学) |
| 片山 雅史 | (国際医療福祉大学) |
| 石郷 景子 | (大垣市民病院) |
| 瀬川 義朗 | (自宅) |
| 三浦 祥子 | (仙台市立病院) |
| 山本 雅史 | (北海道大学病院) |
| 赤塚 れい子 | (山形県立河北病院) |
| 谷中 弘一 | (獨協医科大学日光医療センター) |
| 山本 貴子 | (可児とうのう病院) |
| 松下 隆史 | (神戸市立医療センター中央市民病院) |
| 高松 直子 | (徳島医大病院) |
| 八木 和広 | (潤和会記念病院) |

4. 会計監査

| | |
|--------|-----------|
| 水野 久美子 | (名古屋市立大学) |
|--------|-----------|

5. インターネット運営委員および事務局

| | |
|-------|------|
| 瀬川 義朗 | (自宅) |
|-------|------|

6. 表彰推薦委員(順不同・敬称略)

| | |
|-------|------------|
| 片山 雅史 | (国際医療福祉大学) |
| 丸田 雄一 | (山口大学) |